



りんどう

題字:水民婦而子先生

第28号
平成28年11月発行
熊本県女性薬剤師会
ホームページ
<http://kumajyo.jimdo.com/>

変化する(薬局)薬剤師 対物業務から対人業務へ

熊本県女性薬剤師会 副会長 羽山悦子

将来、人間の仕事の一部がロボットに変わっていくと言われています。薬剤師の仕事もロボットの出来ることが増えてくるでしょう。

厚生労働省から発表された「患者のための薬局ビジョン」で今後求められる「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」像が描かれています。患者の服薬情報の一元的・継続的把握(副作用や効果の継続的な確認/多剤重複投薬や相互作用の防止/全ての医療機関の処方情報を把握)24時間対応・在宅対応 医療機関等との連携など期待されていることの大きさを感じます。薬剤師には薬中心の業務(ロボットに出来ることは任せる?)から患者中心の視点で人を相手にする仕事への移行が求められています。

今後は患者中心の処方監査や服薬指導・相談業務で的確な判断ができるように、幅広い最新の知識が必要になります。また、患者さんが理解でき、行動出来る(変わってもらえる)ような会話力も必要です。研修会で専門性を高め、コミュニケーション能力の向上にも努めましょう。



トチバニンジン



ナンバンギセル



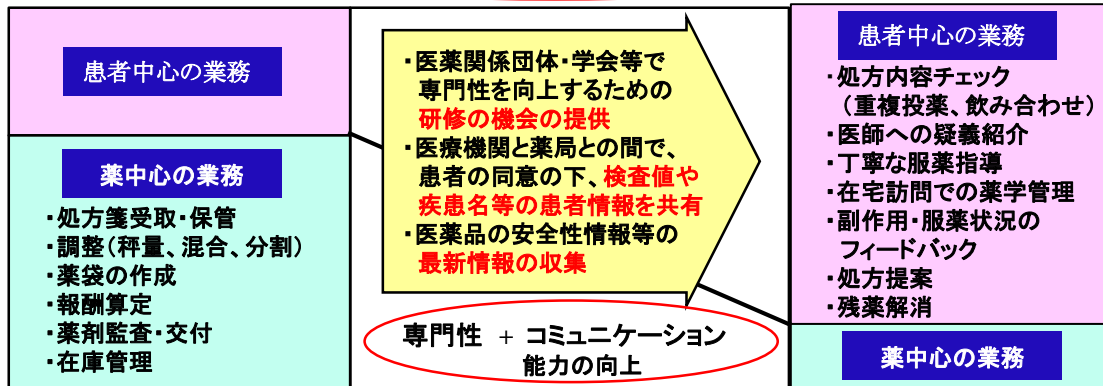
キツリフネ



シラネセンキュウ

かかりつけ薬剤師としての役割の発揮に向けて

～対物業務 から 対人業務 へ～



患者のための薬局ビジョン
厚生労働省

熊本県女性薬剤師会総会 平成28年6月25日終了

当初4月16日に予定しておりました総会・研修会を4月14日の地震の翌日に中止を決定し、どうにか落ち着いてきた6月25日に無事開催することができました。そのようなあわただしい中でも多くの皆様にご参加いただきました。参加申し込みを受けずに開催する行事の中止をどのようにお知らせするかが新たな課題となりましたが、ホームページへ掲載しますので、今後はホームページでのご確認をお願いします。

第14回日本女性薬剤師会全国移動セミナーin青森 2016年9月18日

「地域包括ケアとチーム医療の実践」

保健・医療・福祉の架け橋になろう、そして在宅医療・在宅介護への対応～多職種との連携による地域包括ケアの体制の中で地域医療提供施設としての役割～
特別講演「チーム医療・連携の本質」メディカルアートディレクター 佐藤和弘先生
医療だけでなく介護関係者や地域住民を含めた多職種の中で参加者の意見をどのように繋いだらよいかを、従来型の受け身の「わかる」研修会ではなく、「できる」を目指し参加型で研修しました。

シンポジウム「あなたも在宅チームの一員」

青森県内から多職種の方々が薬剤師との連携の実際や要望について話されフロアとの意見交換も活発に行われました。(参加者 江藤・杉浦)



交流会のス Copp 三味線演奏会

来年は9月17日
福島で開催
東北応援のため
多数の皆様が
参加されることを
願います。

研修会を開催しました

開催した研修会の参加者による報告を熊本県女性薬剤師会ホームページに掲載しています

日時 平成28年6月25日 参加者 64名

演題 「身近な漢方薬の使い方」

良寛堂薬局 高濱 寛先生

実際に「当帰芍薬散」「加味逍遙散」「桂枝茯苓丸」を手にとって香りを嗅いだり形状を見たり、練習問題を解いたり臨場感あふれる講義でした。本来ならこの研修会は熊本地震(本震)があった4月16日に開催される予定でした。地震から2ヶ月半、無事に研修会に参加できて幸いです。がんばろう！熊本。(石田浩子)



日時 平成28年9月24日 参加者63名

情報提供「がん治療の取り組みについて」

(株)アステム医薬営業本部ががんMC課熊本担当 松崎雅樹先生

講演1「訪問薬剤業務の実際～症例を交えて～」

(株)ファーマダイワ在宅部部長 長峰慎之助先生

講演2「在宅緩和ケアの実際と訪問薬剤師との連携」

ひまわり在宅クリニック理事長・院長

後藤慶次先生

後藤先生のご講演の最後は「患者と家族を支えているつもりがその生き方や思いに触れ励まされ力づけられて自分が生かされていることに気付く。人は互いに支えられて生きており、人の振る舞いや想いは受け継がれていくものであり、最期の時を納得のできる形を見守っていきたい」と締めくくられた。(平井友子)



日本女性薬剤師会の九州ブロック研修会

平成28年9月24日

熊本県女性薬剤師会の研修会を日本女性薬剤師会の九州ブロック研修会を兼ねる形で開催しました。佐賀県から3名参加。研修会終了後会議と懇親会を行いました。



研修会受付風景

9月24日の研修会は熊本大学薬学部との共催で宮本記念館で開催しました。



女性薬剤師会メーリング会員を募集します

jyoyaku-kumamoto@freeml.com

研修会の案内をなどをお知らせします

「災害支援を男女参画の視点から考える」

熊本県男女共同参画活動交流協議会の研修会

平成28年10月15日

講演: 「男女共同参画と熊本地震」 田嶋徹熊本県副知事

「ママの視点から見た防災」 柳原志保防災士

グループワーク: 薬剤師、看護師、栄養士、介護ホーム職員
ユニセフ協会員 等 異業種交流

演者の「女性の持つ、察知し共感できる力、を大切にしたい」という言葉が参加者に勇気を与えていました。講演では、男性トイレより女性トイレの数を多く設置可能な国内外の基準があること、しかし東日本大震災の後、女性トイレの数が多すぎた為にそこが性被害の場所になってしまったことが指摘されていました。初めて知った悲劇的実情でした。防災が「忘災」とならないよう日頃からの備えを心掛けたいと思いました。有意義な研修会に参加できたことに感謝しました。(本田顕子)



地震で根子岳山頂が崩落！
山の形が変わりました

写真提供
矢原正治先生



ボロボロの山肌

第16回薬用植物を知らうin熊本(南阿蘇 高森) 2016年10月2日

主催: 矢原正治先生 講師: 吉田(北海道)・南(愛知県)・香月(福岡)・佐藤(熊本)先生
公共交通機関が整わない中、88名の方が参加され、とても10月とは思えない暑い一日でしたが、心配された救急車搬送もなく無事に笑顔で記念撮影できました。今回は熊本県立大学の学生さんも貸し切りバスで参加、平均年齢が下がりました。小グループに分かれて、シラネセンキュウのレースのような花やツリフネソウ類、トチバニンジンなど多くの薬用植物を観察することができました。なんと翌週の10月8日(土)には阿蘇中岳が噴火してびっくりしました。(米田喜美子)



熊本地震特集

7か月たち少しずつ解体が進み、空き地を見てここも大変な被害だったのかと改めて認識したり、さらに今まで見えなかったところの被害が見えたり、近所の景色が変わりつつある毎日です。被害の大小にかかわりなく、私たちはみんな地震を経験しました。それぞれの熊本地震です。



お城にこもる心

熊本市中央区 古庄旨子

いま私の座右には、私が描いたお城のスケッチが立てかけてあります。この絵は古くて拙いけれど、断捨離には耐えられないドラマがあります。

熊本城の本丸が再建された昭和35年ごろから、楠若葉のお城で親子スケッチ大会が開催されていました。小学生の子供と参加した折、まぐれで、親の部で入選してしまいました。入選作品は絶対手元に戻らないと聞いていたその絵が、20年程経た頃、手元に帰ってきました。(子供の担任の先生が関係の倉庫で奇跡にも目についたと...) 思いもかけぬ再会を喜び、眺めた後いつの間にか仕舞い込んでいました。

その絵が震災の散乱の中で出てきました。未だに渦中にある震災とその後の余震で日に日に崩れるお城を目にします。この絵は崩れかけたお城との出会いのように思えました。折から、城の甍りの声が立ち上がると県民の元気が出たのに、また感涙しました。

この絵についてもそうですが、被災品を処分することになると、それぞれの思いの籠りかたが老若で全く違います。けんかになったりまた我慢してストレスが溜まります。ただ還暦をこえた子供達の友人が、今でも親身に手伝ってくれる事など、涙が出ます。

ともあれ、戦争・戦後・水害・平和に酔う等々波乱万丈の時代を生きて来た昭和一族の最後の試練でした。万事に対して、それぞれの人生観・価値観で生きているけれども、万人に共通の「こころ」が生きている事を お城の絵を傍らに感激もしている毎日です。

地盤変動による地震を体験して

熊本市東区 西川涼子

熊本地方において、4月14日M6.5震度7、さらに16日に、M7.3震度7の地震が発生した。我が家は足の踏み場もなく、器、鏡、ガラス窓等割れた。飾り棚は倒れ、外のブロック塀は、粉々に崩れ落ちていた。最も大変だったのが、地盤の変動により、家の基礎が75%以上壊れ、斜めに傾いていたことである。このため、区役所による罹災証明は全壊判定となった。立ち合った罹災判定では地盤沈下の程度の判定は、スウェーデン式サウンディング試験によって行われ、硬い地盤が4m下に有ることが確認され、プッシュアップ工法で沈下の修正が出来ると判断された。この工事を行える会社が、九州には3社しかなく、ようやく10月27日から29日にかけて家を持ち上げ、水平化が行われ、ボルトで固定する作業が終了した。

今回の熊本地震で強く感じたことは、家がしっかりしていても地盤がしっかりしていないと崩れるということです。地盤の大切さを痛感しました。我が家の傾きがこれ以上だと、プッシュアップ工法では利用出来ず、もっと時間とお金の掛かる、アンダービニング工事が必要となったと専門家に言われました。プッシュアップ工法でも、平屋一軒家が建つ程の費用がかかります。基礎の工事、玄関、土留め、アプローチ、内装等の工事は、これからです。

医療人には、今回のような地震被害があっても、自分のことより、仕事を優先すべき使命があり、また、大変な思いをされ、頑張っている患者様の姿を拝見すると、仕事優先への力が湧いてきます。この新たな体験、経験を、これからも続ける薬剤師としての業務の上で生かして行けるよう頑張りたいと思っています。

女性薬剤師会の先生方には、今回の地震にもかかわらず、充実した勉強会を継続していただき、速く立ち直れる環境を作って頂いたこと、心より感謝いたしております。





衝撃の瓦礫の山

熊本市南区 稲生智香子

怪獣が地下で歩き回っているような揺れに、東日本大震災を思い出し、パニックになりながら、主人とともに家から離れ車中泊をしました。夜が明けて自宅に帰ると瓦がほとんど落ち、まさに瓦礫の山でした。道路をふさいでいた瓦礫をお隣の方に手助けしてもらい、何とか車が通れるようにしました。玄関はフレームが歪み鍵が開かず、やっと裏口から家に入りました。

幸いにも以前住んでいたマンションがあり、水も電気も大丈夫だったので生活の場は何とか確保できましたが、自宅と職場とマンションの3か所をめぐる日々が始まりました。通勤や移動にも車の渋滞がひどく、いつもの倍以上の時間がかかり、へとへと毎日の。罹災証明書をもらいに出かけ、長い長い待ち時間の挙句、書類不備での出直しなど、時間を取られることが多くとても疲れしました。また本震後の雨で、無事だった部屋も土壁が膨らんだり、テーブルの上に置いていた物や、絨毯などの後片付けがさらに大変になってしまいました。

そんな中、親戚や友達からの支援物資、メールや電話、子供達も関東から手伝いに来てくれました。ボランティアの方々にも手伝っていただき、多くの方に、助けていただいたことに、感謝の思いが溢れて来ます。こんな大変な毎日ですが、薬局で患者さんと向き合う時は、自宅のことを忘れることができ、自分が鬱にならないで済んでいると思います。仕事の間があった事に感謝しながら、早く日常生活を普通に送りたいと願っております。

厄除けに「屠蘇散」を作ってみませんか？

恒例の「屠蘇散作り」をします。ご興味のある方はお友達を誘って、以下においで下さい。

日時 2016年12月19日(月)14時～20時
会場 熊本県立大学
環境共生学部西棟 1階「学部演習室」
問合せ 矢原正治
電話 080-2711-5248
yaharashoji@gmail.com

私の熊本地震

熊本市南区 K・N

2016年4月14日 午後9時の前震、テレビを観ていた私は掘炬燵の中へと潜り込む。

揺れがおさまるのを待ち、弟へ携帯を入れるが通じない。

我が家は内外共に壁が落ち、住める状態ではないので弟の家へ引っ越す。

4月16日午前1時半本震 7.0が襲う。余りの衝撃に、睡眠中だったことと揺れが大きく長かったこと以外は、ほとんど記憶にない。我が家は崩れた壁がそこいら中に広がり惨憺たる状態。電気とプロパンガスは作動したが断水が続く。17日水を求めて旅館へ避難、山菜料理に温泉、快適な数日を過ごし、水道が復帰したので21日に帰宅。

それから2週間、ぼんやりした毎日を過ごしていたが、自分が動かなければ何も変わらないと覚悟し、5月に入り、土かぶりの食器、テレビ、衣類全ての家具調度などの片付けを始める。

テレビが映らなくなって久しい。情報を得るため市役所へ。

「平成28年度熊本地震被災者支援制度(第1版)」を受け取る。建築課の訪問を受け、応急危険判定結果「要注意」の黄色紙が貼られ罹災証明を申請する。市役所の対応策も少しずつ充実する。解体依頼の為に資料と予約券を受け取る。市役所14階で解体に必要な書類の提出と面談。8月1日解体開始、19日解体終了。

この間更に食器、家具調度、衣類、アルバム等々少しずつ片付ける。厳密な取捨選択はできない。不用品の処理を業者に依頼。和服を今更着るだろうか、アルバムをゆっくり見ることがあるだろうか考えると、取り置く意味を見出せない。結局私の処理能力の問題もあって後半は業者におまかせ、ビジネスとして業者は見事なスピードで処理した。

うさぎ小屋を建てる計画で突き進んだが、息苦しさを覚える日々が続き入院。入院生活で今年夏は夏の暑さを知らずに過ごし、長い消灯時間はオリンピックを堪能できた。現在の生活の中で不自由を託つこともしばしばだが仕方ない。地震の前も体調不良だったのに、俄然馬鹿力が出て無理をしてしまい今に至っている。

住む家がないという事の心の不安定さ、職も無くした人達の心のあり様、
公的支援・ボランティアのありがたさ、身にしみて感じ入りました。